

工藤 すず子

議会報告 第 80 号（2023 年秋号）

発行 2023 年 夏季号

〒271-0094

松戸市上矢切 1 4 5 1 - 4

TEL/FAX 047 (368) 9362

E-mail: kudokusuzuko@sdp-chiba.com

今こそがんに平和 暮らしが一番

100年前のこと、知らなかったで すませてよいのでしょうか

今年は関東大震災から100年目ということで、災害への備えの啓発が行われました。また、人権意識の高まりの中で、震災直後に起きた悲慘な虐殺事件も様々に報道されてきました。

震災後の9月6日現野田市では、薬の行商に来ていた香川県の方々15人が、在日朝鮮人と間違われ、その内9人が虐殺された、『福田村事件』は映画化され、ご覧になった方も多いと思います。（辻野弥生さんが書いた『福田村事件 関東大震災・知られざる悲劇』が映画の原作。）

100年前、多くの人たちが震災から逃れようと混乱する中で、官憲等によって「不逞鮮人が井戸に毒を投げこんだ」、「放火している」等々の流言飛語が流されました。これを受け、関東各地で、消防団や青年団、元軍人などを中心に自警団が組織され、『不逞鮮人』とされた人達が自警の名のもとに虐殺をされていたのです。

この松戸では、馬橋や新作で在日朝鮮人の方7名が虐殺され、後に千葉地裁でこの事件が扱われていたことが、『福田村事件』の中でも明らかにされています。（千葉県内では100名以上とも）

岸田政権の下、アジアの国々を挑発し、武力による威嚇をするような防衛予算拡大が進められています。戦争や災害によって、差別や人権が侵害されてきたことは歴史的事実です。

松戸市はこの歴史をどう受け止め、今後の市政の中でどう生かしていくのかと、私、工藤すず子は一般質問を行ないました。

市長は答弁に立たず沈黙

100年前の市内でのこの事件をどう受けとめ、今後これをどう生かすのかとの質問への答弁は「松戸市史に記載のあることは承知しています。今後も人権啓発に努めます。」との非常にそっけない内容でした。重ねて市長の認識を問うも市長が答弁に立つことはなく沈黙のままでした。

私は「福田村事件」を読み、初めて身近な松戸市内でも虐殺事件が起きていたことを知りました。加害者名は記載される一方、被害者は頭数だけの千葉地裁公判の新聞報道。民族の違いや職業、思想的差別等が横行していた時代。

私たちはこんな愚かなことが二度と繰り返されることのないよう、認識を新たにして、次世代に引き継いでいけるよう頑張る決意です。



私たちは現行保険証の
廃止に反対です！
工藤すず子市議の街頭宣伝

松戸市の自衛官募集への対応状況

他自治体で高校3年生に自衛官募集のはがきが届いて驚いたという話を聞き、松戸市では耳にしていないものの、現状どのような対応がなされているかと、一般質問を行いました。



総務部長の答弁は、「自衛官募集業務は地方自治法及び自衛隊法の定めによる法定受託事務とされている。5月に自衛隊千葉地方協力本部柏募集案内所より依頼があり、自衛官募集のポスターを本庁舎の他、支所、スポーツ施設及び図書館など計54施設に掲示。また募集の案内を令和5年8月1日号の広報松戸に掲載した。」とのことでした。

本人やその保護者の承諾のないままに、市の判断で名簿が提供されることのないよう求めました。

学校敷地内国有地に賃借料？

義務教育である小学校用地に国有地があり、昭和50年の学校開設当初は無償であったものが平成5年より有償契約になっているとのこと。昨年度までの支払い総額は約850万円ということではありましたが、国有財産特別措置法に基づいた減額措置もされており、現時点では見直す予定はないとのこと。

先進国の中でも日本は教育予算が非常に少なく、さらに地代を自治体から徴収する???
皆さんはこの現状をどのように思われますか。

記載以外の一般質問は工藤すす子のホームページで報告予定です。ぜひご覧ください。

議案の審議について

病院事業会計補正予算第1回を審議 会派代表で反対討論に立つ

9月議会では市立総合医療センター別棟建設について建設費の高騰や資機材の納期長期化等により、22億3600万円の予算を3億3332万円増額させ、総額25億6932万円に、工期の遅れで令和7年度に事業を継続させる補正予算案が提案された。別棟建設は実施設計、施工期間ともにプラス3か月延長され完成時期は7年8月末となる予定。

総合医療センターは許可病床600床です。しかし建設時に議会が行った付帯決議『病院開設後3年以内に稼働病床を600床とし、稼働率90%を

満たす』という決議は未だ守られておらず、44床が休床状態。東松戸病院が今年度末閉院されるため、緩和ケア病棟と人間ドックの機能を総合医療センターが引き継ぐとい



うことで、別棟建設が予算化されましたが、600床+20床とはならないのも疑問です。また、今回、別棟屋上に太陽光発電システム10キロワットが計画に追加されましたが、その経費を見ると他の公共施設で計画しているものとのコスト差が見られます。コスト削減に努力すべきところが、庁内の情報共有がされていない問題を指摘しました。

東松戸は予定通り3月末で閉鎖され、別棟が機能するまでには1年半の空白となります。これらの観点から政策実現フォーラム・社民会派として、この補正予算案に工藤が代表して反対討論をしましたが、結果は賛成多数により、議案は可決をされました。

第4回みずほ塾 in 千葉

大椿裕子参議院議員を招いて開催

日時 12月3日(日)午後2時～
場所 県教育会館別館第3会議室
内容 「国政問題を語る」

十二月定例市議会の予定
十一月三十日(木) 〃
十二月十八日(月) 〃

